

令和7年度 第2回中津川市総合計画推進委員会 主な意見

日時：令和7年9月26日（金）13：30～16：30

場所：ひと・まちテラス 104活動室

議事 令和7年度事業検証について

- ・後期事業実施計画に掲げる事業のうち、中心市街地活性化に関する3事業をピックアップし、分野横断的に検証を行う。
- ・各事業担当課より該当事業について説明し、事業内容等について各委員より評価をいただいた。

「商業振興事業」

- ・事業の概要
 - ・本事業は商業振興の促進を目的に、商工会議所や北商工会、金融機関と連携し、中小企業、個人事業主などの事業継続のための金融支援、支援等を主な内容としている。
- ・主な意見
 - ・中心市街地の駐車場の場所が分かりづらく、市外から車で来られる方は行きたいお店へ入りづらいのではないかと。
 - ・駐車場とお店の距離が離れている場合、市外の方は分かりにくいとため、案内看板設置などの対策を講じた方がよいのではないかと。
 - ・新規創業者に対する補助金について、受け身ではなく、積極的なPRを行い、制度を周知していく必要がある。
 - ・新規創業者に対する補助金について、地域特有のものを活用すれば補助金額等を上乗せするというような制度を構築することで、経済の循環をさらに高められるような仕組みができるのではないかと。
 - ・事業承継について、支援制度の使い方や担当者が分からないことによる負担感を拭えるような商業、農業などの業種を越えた承継のワンストップ窓口設置などの工夫が必要である。

「観光推進事業」

- ・事業の概要
 - ・中津川市の観光資源の発掘、磨き上げを行うとともに、関係団体等と連携し受け入れ体制の強化、観光振興による地域活性化を加速させるため、市全体での戦略的な観光を推進する。
 - ・主な意見
 - ・外国人観光客から夜ご飯を食べるところがない、夜遊ぶところがないという声がある。
 - ・中心市街地内で夜楽しめる場所、催しが創出されるとまちのにぎわいにつながるのではないかと。
 - ・まち歩きツアーなどのイベントを企画するとよいのではないかと。
 - ・インバウンドの増加に伴い、受け入れ体制を強化していくため、ガイドマップ等の多言語化が必要ではないかと。特に「食」に関しては重要なコンテンツであるため、多言語化による情報発信をしていくべきである。
 - ・中心市街地のキャッチコピーを作るなど工夫したPRが必要である。
- 神坂スマートインターチェンジの開通に伴う人の流れ等の影響について調査を行い、より効果的な施策の検討が必要ではないかと。
- ・ボランティアガイド養成講座受講者数が0となっており、心配している。おもしろい居酒屋ガイドなど新しい視点に立ったものがあるとよいのではないかと。また、知識、魅力の伝え方などのガイドスキルを新しい世代に伝え、後の世代に残していくことも重要である。

「都市計画総務事業」

・事業の概要

・リニア中央新幹線の設置や人口減少社会など、中津川市を取り巻く環境が大きく変化していることから、これらに的確に対応し持続可能な都市構造とするため、都市計画による秩序あるまちづくりを行う。

・主な意見

- ・都市空間を活用したイベントについて、市民に対してもっとPRをした方が良いのではないか。
- ・リニア中央新幹線を降りた後、リニア岐阜県駅からどのように人が流れを中心市街地に導くかを検討する必要があるのではないか。
- ・JR 中津川駅前広場について、有効活用ができない空間となってしまう場所がある。空間を有効に活用するための整備を行った方が良いのではないか。